



Infor LN 資材価格設定ユーザガイド

重要事項

本書に含まれる資料（あらゆる補足情報を含む）は、Inforの機密及び専有情報に相当し、かつそれを含むものです。

添付を使用するにあたり、使用者は、当該資料（当該資料のあらゆる修正、翻訳または翻案を含む）、すべての著作権、企業秘密、及びそれに関係するすべてのその他権利、権原及び利益はInforが独占所有するものであり、使用者には、別の契約（この別契約の契約条項によって、貴社の当該資料及びすべての関連する補足情報の使用が規定されます）に基づいてInforより貴社に使用許諾されたソフトウェアに関連し、またその使用を促進することのみを目的（以下、「目的」という）として、当該資料を使用するための非独占的権利以外、使用者の閲覧に基づく権利、権原及び利益（すべての修正、翻訳または翻案を含む）は付与されるものではないことを認識し、それに同意するものとします。

更に、同封の資料を使用するにあたり、使用者は、使用者が当該資料を極秘扱いで保管しなければならないこと、そして使用者の当該資料の使用は上述の「目的」に限定されることを認識し、それに同意するものとします。Inforは、本書に含まれる内容に誤りや洩れがないよう細心の注意を払っていますが、本書に含まれる内容が完全なもので、誤植やその他の誤りがなく、使用者の個別の要望を満たすことは保証しません。したがって、Inforは、本書（あらゆる補足情報を含む）の誤りまたは不備により、またはそれに関連して生じたあらゆる個人または団体に対する、あらゆる間接的または直接的損失または損害について、その誤りまたは不備が過失、事故またはその他の理由によるものであるかどうかにかかわらず、一切の責任を負わず、かつそれを放棄するものとします。

使用者の本資料の使用は、米国輸出管理法及びその他に限定しない輸出入の適用法に準拠するものとし、使用者は、本資料及びあらゆる関係資料または補足情報を当該法律に違反して、直接的または間接的に輸出または再輸出してはならず、またこれらの資料を当該法律により禁止されるいかなる目的にも使用してはなりません。

商標確認

ここに示す文字標章及び図形標章は、Infor及び/またはその関連会社ならびに子会社の商標または登録商標、あるいはその両方です。無断複製・転載を禁ず。参照されるすべての他の社名、製品名、商標名またはサービス名は各所有者の登録商標または商標です。

発行情報

文書コード	commprug (U9865)
リリース	10.5 (10.5)
発行日	2017 年 12 月 21 日

目次

文書情報

第1章 概要.....	11
資材価格設定 - 概要.....	11
資材価格の設定.....	11
資材価格情報の取得.....	11
販売および購買伝票の資材価格情報.....	12
資材価格情報の更新.....	12
第2章 設定.....	13
資材価格 - 設定.....	13
資材内容の生成.....	14
日付有効資材.....	15
リスト構成要素について生成される品目資材内容.....	15
第3章 取得.....	21
資材価格情報の取得 - 一般的論理.....	21
一般ルール.....	22
第4章 販売見積.....	25
資材価格情報 - 販売見積.....	25
第5章 販売オーダー.....	27
資材価格情報 - 販売オーダー.....	27
販売オーダーライン生成.....	27
更新.....	28
承認.....	28
構成要素.....	28
コピーテンプレート.....	29
プロジェクト構造.....	29
実際納入.....	29
消費.....	29
請求書.....	30
第6章 販売契約.....	31

資材価格情報 - 販売契約.....	31
第7章 販売スケジュール.....	33
資材価格情報 - 販売スケジュール.....	33
更新.....	33
承認.....	34
実際納入.....	34
消費.....	34
請求書.....	34
第8章 見積依頼.....	35
資材価格情報 - 見積依頼 (RFQ).....	35
第9章 購買オーダー.....	37
資材価格情報 - 購買オーダー.....	37
購買オーダーラインの生成.....	37
統合.....	38
更新.....	38
承認.....	38
入庫.....	38
委託補充および支払.....	39
返品オーダー.....	40
請求書.....	40
発注先段階的支払.....	40
第10章 購買契約.....	41
資材価格情報 - 購買契約.....	41
第11章 購買スケジュール.....	43
資材価格情報 - 購買スケジュール.....	43
更新.....	43
入庫.....	43
請求書.....	44
第12章 更新.....	45
資材価格情報の更新 - 一般的論理.....	45
資材価格情をマニュアルで変更する.....	45

資材価格を再設定する.....	45
親伝票ラインを更新する.....	45
付録A 用語集.....	49
索引	

文書情報

この文書では、さまざまな販売伝票と購買伝票(販売見積、販売オーダー、販売契約、販売スケジュール、見積依頼、購買オーダー、購買契約、購買スケジュールなど)のために、資材価格の設定、取得、更新を行う手順を説明します。

前提となる知識

本書を使用するには、LN ソフトウェアに関して詳細な知識が必要というわけではありませんが、Infor LN の機能についての一般的な知識があれば本書の理解に役立ちます。

本書の概要

次の表に、本書の章を示します。

章番号	章タイトル	内容
第 1 章	概要	資材価格設定の概要
第 2 章	設定	資材価格マスターデータの設定および品目資材内容の生成
第 3 章	取得	資材価格情報の取得に関する一般的ロジック
第 4 章	販売見積	資材価格および販売見積
第 5 章	販売オーダー	資材価格および販売オーダー
第 6 章	販売契約	資材価格および販売契約
第 7 章	販売スケジュール	資材価格および販売スケジュール
第 8 章	見積依頼	資材価格および見積依頼 (RFQ)
第 9 章	購買オーダー	資材価格および購買オーダー
第 10 章	購買契約	資材価格および購買契約
第 11 章	購買スケジュール	資材価格および購買スケジュール
第 12 章	更新	資材価格情報の更新に関する一般的ロジック

参照

本書は資材価格設定の主要な参考として用います。本書で取り扱っていない情報を調べるには、以下の関連資料の最新版を用います。

- 販売見積ユーザガイド U9841 JA
販売見積の手順を理解するために用います。
- 販売オーダーユーザガイド U9845 JA
販売オーダーの手順を理解するために用います。
- 販売契約ユーザガイド U9844 JA
販売契約の手順を理解するために用います。
- 購買と販売スケジュールユーザガイド U9541 JA
購買と販売スケジュールの手順を理解するために用います。
- 見積依頼 (RFQ) ユーザガイド U9821 JA
見積依頼の手順を理解するために用います。
- 購買オーダーユーザガイド U9824 JA
購買オーダーの手順を理解するために用います。

- 購買契約ユーザガイド U9822 JA
購買契約の手順を理解するために用います。
- 価格設定ユーザガイド U9179 JA
価格設定の手順を理解するために用います。

本書の使い方

本書は、オンラインヘルプトピックから作成されたものです。そのため、他のセクションへの参照は、次のように表示されます。

詳しくは、「概要」を参照してください。参照先のセクションを見つけるには、目次を参照するか、文書の最後にある索引を使用してください。

下線の付いた用語には、用語集の定義へのリンクが設定されています。本書をオンラインで表示する場合は、下線の付いた用語をクリックすると最後にある用語集の定義に移動できます。

コメント

弊社は常に文書の見直しや改善を行っていますが、この文書に関するご意見、ご要望などありましたら、documentation@infor.com にご連絡ください。

送信の際には文書番号およびタイトルを明記してください。情報が具体的であるほど迅速な対応が可能です。

Infor へのお問い合わせ

Infor 製品に関するお問い合わせは、Infor Xtreme Support ポータル www.infor.com/inforxtreme をご利用ください。

製品リリースに関する更新情報は、この Web サイトに掲載いたします。このサイトを定期的にご確認ください。

Infor ドキュメントに関するご質問・ご意見は、documentation@infor.com までご連絡ください。まずようお願いいたします。

資材価格設定 - 概要

銅、銀、金、アルミニウムなどの資材の価格は、頻繁に変動します。通常、これらの価格は完成品の価格のかかなりの部分を占めるため、リスクを最小限にするために特にモニタリングする必要があります。資材価格付加費用を使用して資材の価格上昇に対応し、資材価格付加費用原価を使用して追加の資材関連原価をカバーできます。

導入済ソフトウェア構成要素 (tccom0500m000) セッションの [資材価格設定] チェックボックスがオンで、資材価格パラメータ (tcmpr0100m000) セッションの [調達/販売の資材価格設定] または [販売の資材価格設定] チェックボックスがオンの場合、資材価格が計算され、この価格が購買伝票および販売伝票の (伝票ライン) 価格に含まれます。その結果、これらの伝票にリアルタイムの価格が含まれます。

購買伝票および販売伝票用に資材価格を計算するとき、以下が考慮されます。

- 取引先との間で交わされた資材価格合意
- 購買または販売される品目にリンクされた品目/資材内容
- 取引先にリンクされている品目/資材情報
- 品目の資材の基準価格と実際価格の差異
- 資材価格を計算しない例外

資材価格の設定

資材価格を計算するには、マスタデータを指定しておく必要があります。

詳細は、次の情報を参照してください:

- 資材価格 - 設定 (ページ 13)
- 資材内容の生成 (ページ 14)

資材価格情報の取得

資材価格マスタデータを設定すると、資材価格情報を取得し、販売伝票および購買伝票用の資材価格を計算できます。

詳細は、次の情報を参照してください: 資材価格情報の取得 - 一般的論理 (ページ 21)

販売および購買伝票の資材価格情報

詳細は、次の情報を参照してください:

- 資材価格情報 - 販売見積 (ページ 25)
- 資材価格情報 - 販売オーダー (ページ 27)
- 資材価格情報 - 販売契約 (ページ 31)
- 資材価格情報 - 販売スケジュール (ページ 33)
- 資材価格情報 - 見積依頼 (RFQ) (ページ 35)
- 資材価格情報 - 購買オーダー (ページ 37)
- 資材価格情報 - 購買契約 (ページ 41)
- 資材価格情報 - 購買スケジュール (ページ 43)

資材価格情報の更新

購買伝票または販売伝票用に資材価格情報が取得された後、資材価格情報を更新できます。

詳細は、次の情報を参照してください: 資材価格情報の更新 - 一般的論理 (ページ 45)

資材価格 - 設定

調達および販売で資材価格を有効にするには

ステップ 1: 資材価格の導入

導入済ソフトウェア構成要素 (tccom0500m000) セッションの [コンセプト (ロジ)] タブにある [購買および販売] グループボックスで、[資材価格設定] チェックボックスをオンにします。

ステップ 2: 資材交換を指定する

資材交換 (tcmpr0101m000) セッションで、使用する資材交換を指定します。

ステップ 3: 資材価格パラメータを指定する

資材価格パラメータ (tcmpr0100m000) セッションで、調達および販売に資材価格を適用するかどうかを指定し、関連するパラメータ (資材価格合意の番号グループおよびシリーズ、デフォルトの資材交換、検索日、付加費用係数など) を指定します。

ステップ 4: ユーザプロファイルの資材価格合意の番号グループおよびシリーズを指定する

購買ユーザプロファイル (tdpur0143m000) セッションで、購買ユーザプロファイルについてデフォルトの [資材価格合意シリーズ] および [資材価格合意シリーズ] を指定します。販売ユーザプロファイルについては販売ユーザプロファイル (tdsls0139m000) セッションで指定します。

ステップ 5: 資材および資材価格マスタデータを指定する

資材 (tcmpr0610m000) セッションで、資材を指定します。

資材について、以下の処理を実行できます。

- 資材を品目にリンクし、品目資材内容を指定する
品目資材内容 (tcmpr0120m000) セッションで、品目の資材内容をマニュアルで指定できます。品目資材内容の生成 (tcmpr0220m000) セッションを使用することもできます。
品目資材内容の生成 (tcmpr0220m000) セッションを使用して、部品表がリンクされた品目またはキット品目について、部品表の各レベルまたは構成要素の資材内容を決定します。内容は (主) 品目の資材内容に追加されます。[生成結果] オプションをクリックする

と、生成結果 (tcmpr0121m000) セッションで結果の概要を確認できます。次に、レコード ([生成結果 ID]) をダブルクリックして品目資材内容生成結果 (tcmpr0621m000) セッションを開始します。このセッションで、すべての関連品目について生成された資材内容や生成エラーなど、詳細な結果を表示できます。

- 資材および品目を価格リストまたは取引先にリンクする
調達取引先品目資材情報 (tcmpr0104m000) セッションおよび販売取引先品目資材情報 (tcmpr0104m100) セッションで、価格リストまたは取引先について日付有効品目資材情報を指定します。
実際に請求可能な資材内容数量の割合を修正するには、[請求可能数量係数] フィールドで、デフォルト値を別の値に変更します。
- 価格リストまたは取引先別に資材の例外を指定する
調達資材例外 (tcmpr0103m000) セッションおよび販売資材例外 (tcmpr0103m100) セッションで、価格リストまたは取引先別に資材の例外を指定できます。資材例外は日付有効です。
価格リストまたは取引先別に伝票タイプの例外を指定するには、調達伝票タイプ例外 (tcmpr0102m000) セッションおよび販売伝票タイプ例外 (tcmpr0102m100) セッションを使用します。
- 品目、価格リスト、または取引先別に資材の基準価格を指定する
資材基準価格 (tcmpr0140m000) セッションで、品目、価格リスト、または取引先別に資材の基準価格を指定します。資材基準価格は日付有効です。
- 資材の実際価格を指定する
資材実際価格 (tcmpr0145m000) セッションで、資材の日付有効実際価格および資材交換を指定します。

ステップ6: 品目(グループ)および価格リストまたは取引先別に資材価格合意を指定する

資材価格合意 (調達) (tcmpr0630m000) セッションおよび資材価格合意 (販売) (tcmpr0630m100) セッションで、価格リストまたは取引先、および品目または品目グループについて資材価格合意を指定します。

資材価格合意では、資材や価格は指定されません。合意には、資材を取得し資材価格を計算するために使用される日付と前提条件が含まれています。

資材内容の生成

正確な資材価格計算を行うには、最新の品目資材内容リストが必要です。品目資材内容は、生成するかマニュアルで指定できます。

- 品目資材内容の生成 (tcmpr0220m000) セッションを使用して品目資材内容を生成する
品目構造 (部品表 (BOM)、製品バリエーションなど) を生成した後、品目資材内容の生成 (tcmpr0220m000) セッションを使用して品目資材内容を生成できます。品目構造に使用されている標準部品または設計モジュールの既存の数量に基づいて、生成が行われます。
組立品目の場合、製品バリエーション (組立) (tiapl3500m000) セッションで指定される製品バリエーション構造が BOM として使用されます。ジョブショップ品目の場合、同じ目的で部品表 (tibom1110m000) セッションが使用されます。

- 品目資材内容 (tcmpr0120m000) セッションを使用して品目資材内容をマニュアルで指定する
品目構造を伴わない品目では、品目資材内容を生成できません。品目資材内容 (tcmpr0120m000) セッションを使用して品目資材内容をマニュアルで指定する必要があります。

注意

標準品目および設計モジュールの品目資材数量を定期的に生成する必要があります。カスタマイズ品目など、他の品目について品目資材内容を生成する前に、これらの品目の数量が利用可能であることが必要です。また、標準品目および設計モジュールの資材内容が定期的に生成されない場合、資材価格の計算に影響します。

資材が特定の品目または品目範囲についてインデックスされる最下位レベルに基づいて、資材内容が計算されます。部品表の最下位レベルには、マニュアルで指定された資材数量が含まれます。上位レベルの資材数量は、通常、LN によって生成されます。

次の式を使用して資材内容を算出します。

$$\frac{\text{すべての構成要素の資材数量} \times \text{正味数量}}{\text{部品表数量}} = \text{品目資材内容}$$

資材内容が生成される品目に基づいて、資材内容計算は以下によって決まります。

- オプションリスト ID または製品バリエーションについて定義された構成可能購買品目の、マニュアルで指定された品目資材内容。注意: 両方が定義されている場合は製品バリエーションが使用されます。
- 設計モジュールの品目資材内容
- より低いレベルの一般品目または構成可能製造品目の品目資材内容

日付有効資材

特定の品目構造の場合、資材は日付有効です。生成される結果は、資材が有効である期間、および [発効日] フィールド、(結果が生成される日付) の組み合わせに依存します。結果を生成する資材が、この特定の日付に品目について有効でない場合、この資材は考慮されません。

例: 有効化コードを伴う標準品目

リスト構成要素について生成される品目資材内容

キット品目の品目資材内容を決定する必要がある場合、内容は、リスト構成要素 (tcibd3100m000) セッションで リストグループ および リスト/キット の品目の組合せにリンクされた品目に基づきます。

品目資材内容を生成する場合、LN は、品目資材内容の生成 (tcmpr0220m000) セッションで指定された [発効日] に構成要素が有効かどうかを確認します。すべての構成要素が有効な場合、部品表 (BOM) 品目と同じ手順が適用されます。最下位レベルが取得され、構造が主品目まで総計されます。

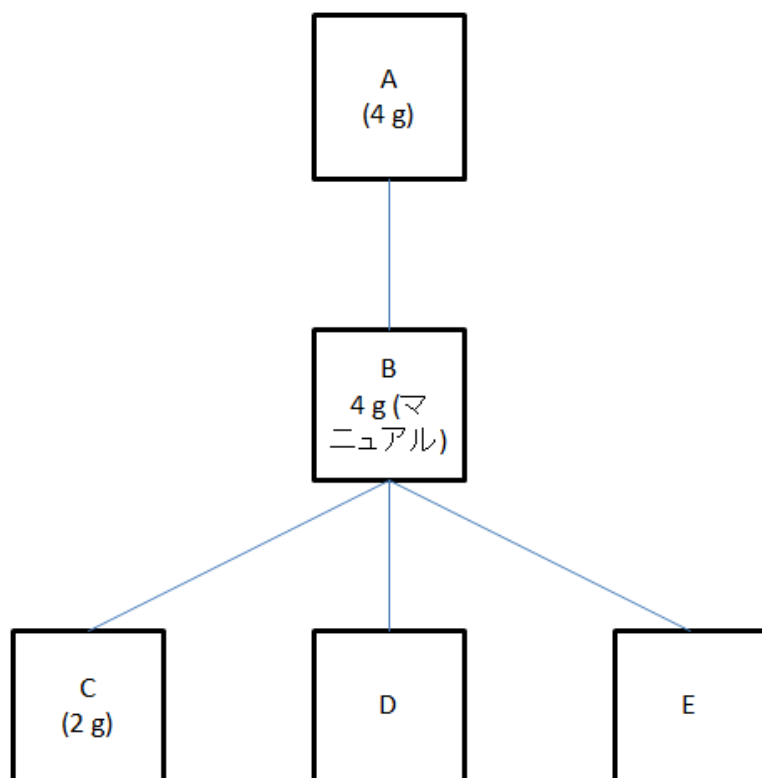
注意

組立計画の品目資材内容を生成するには、その組立品目を構成する標準品目について、品目資材内容がすでに生成されている必要があります。

例: 品目構造においてマニュアルで指定された資材数量

品目資材内容を算出する場合、下位の部品表レベルから総計された数量ではなく、品目構造においてマニュアルで指定された資材数量が使用されます。下位レベルの資材数量を総計して生成された数量は、マニュアルで指定された数量によって上書きされます。

生成処理



部品表 (BOM) 構造において、すべての数量は 1 です。

品目 C の資材数量は LN によって計算されます。

品目 B についてマニュアルで指定された資材数量は 4 グラムです。数量がマニュアルで指定されているため、品目 B の資材内容は品目 C について計算された数量を却下します。したがって、主品目 A の資材数量は、マニュアル指定された数量がない場合の 2 グラムではなく、4 グラムとなります。

注意

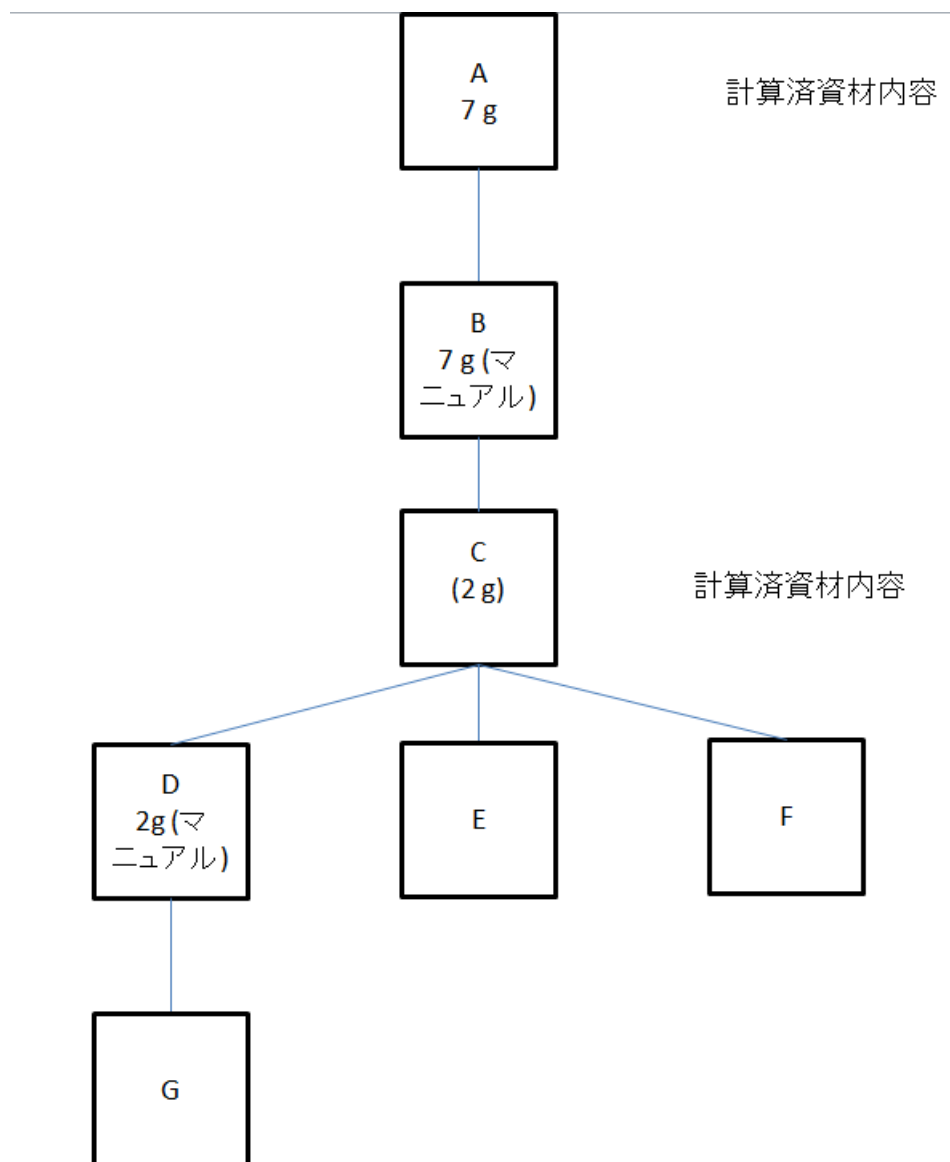
生成された品目資材内容データは、品目資材内容 (tcmpr0120m000) セッションで表示および更新できます。更新またはマニュアルで指定された品目資材内容では、[マニュアル] チェックボックスがオンになります。その結果、再生成を行っても品目資材内容が上書きされません。マニュアルで指定された資材内容を上書きできるのは、品目資材内容の生成 (tcmpr0220m000) セッション

ンで [マニュアルおよび修正済品目資材内容の上書き] チェックボックスをオンにした場合のみです。

例: 不整合の解決

状況によって、インデックス作成中に発生した不整合を解決しなければならないことがあります。

この例では、同じ主品目について、部品表 (BOM) の異なるレベルに、マニュアルで指定された品目資材内容が存在します。



品目資材内容を決定する場合、部品表または製品バリエーションの最下位レベルが考慮されます。資材内容は、通常、このレベルでマニュアル指定されます。マニュアルで指定された資材内容は、部品表の異なるレベルに存在することがあります。

この例では、品目 D および B で数量がマニュアル指定されています。したがって、両方の品目が計算の開始点となり、レベルゼロ (0) となります。

品目	レベル
D	0
B	0

品目 A と C はレベルゼロ (0) の品目の親なので、レベル 1 品目として追加されます。

品目	レベル
D	0
B	0
C	1
A	1

レベル 1 品目 C の親が B の場合、レベル 1 品目の親が解決されると、不整合が識別されます。品目 B のレベルが 0 から 2 に変更され、この不整合が解決されます。主品目である A には親がありません。

品目	レベル
D	0
C	1
A	1
B	2

レベル 2 品目でも、前のレベルと同じ不整合が発生します。レベル 2 品目 B の親が A です。これを解決するため、A がレベル 3 品目として指定されます。

品目	レベル
D	0
C	1
B	2
A	3

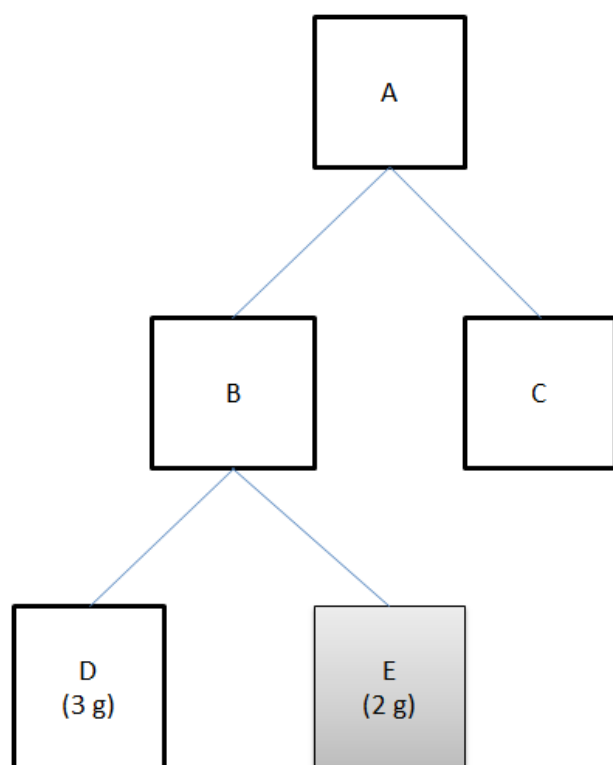
Aには親がないため、アルゴリズムは完成です。すべての部品表品目が適切なレベルに含まれ、資材内容を正しく計算できます。

例: 有効化コードを伴う標準品目

有効化コードを伴う標準品目は、カスタマイズ品目とは異なります。有効化コードでは、主品目から標準品目の最下位レベルまでの完全な部品表 (BOM) 展開が必要です。これは、部品表の任意のレベルで例外を定義でき、各レベルで異なる資材カウントになる場合があるためです。

この例では、品目 E は特定の有効化コードについてのみ有効です。標準構成 (有効化コード = 0) には品目 E が存在しません。品目構造に品目 E を追加する有効化コードが有効な場合、品目資材内容レコードが品目 B および A について作成されます。

有効化コードが指定されていない場合、主品目の品目資材内容は品目 D が 3 グラムです。有効化コード 23 が有効な場合、品目 E の 2 グラムが追加されるので品目資材内容は 5 になります。これは、この有効化コードの場合のみです。



凡例

白 標準部品表
グレイ 有効化コード 23 の場合に有効な例外

資材価格情報の取得 - 一般的論理

資材価格マスタデータを設定すると、購買伝票または販売伝票用の資材価格情報を取得し、資材価格情報 (tcmpr1600m000) セッションに表示できます。伝票用に以下の資材価格情報が取得および計算されます。

ステップ 1: 資材価格合意

伝票ラインの価格リスト、取引先、品目、および日付に基づいて、資材価格合意 (調達) (tcmpr0130m000) セッションまたは資材価格合意 (販売) (tcmpr0130m100) セッションで有効な資材価格合意が検索されます。

有効な価格合意がある場合、資材価格情報 (tcmpr1600m000) セッションで、ビジネス文書用の資材価格情報が生成されます。

ステップ 2: 品目資材内容

伝票ラインの品目、有効化コード、オプションリスト ID、製品バリエーション、および日付に基づいて、品目資材内容 (tcmpr0120m000) セッションから品目資材内容が取得されます。

各資材について、文書の資材情報 (tcmpr1110m000) セッションで資材 (価格情報) ラインが生成されます。このセッションは、資材価格情報 (tcmpr1600m000) セッションにタブとして表示されます。価格合意が存在せず、資材ラインが生成される場合、資材価格情報のデフォルト値は資材価格パラメータ (tcmpr0100m000) セッションのデータに基づきます。その結果、資材実際価格を取得するための検索日は [固定価格] に設定されます。

ステップ 3: 請求可能数量係数

伝票ラインの取引先、品目、および日付に基づいて、資材ラインの [請求可能数量係数] が取得されます。

ステップ 4: 資材基準価格

伝票ラインの取引先、品目、および日付に基づいて、資材ラインの基準価格が取得されます。

ステップ 5: 資材実際価格

資材価格合意の [価格ルール] に基づいて、資材ラインの実際価格を取得するための検索日が決定されます。

資材実際価格の決定は常に必須なわけではありません。次の場合があります。

- ビジネス文書ライン処理において、資材実際価格がまだ必要でない
- 実際価格の決定に使用される検索日が将来の日付である、または指定されていない
- 検索日の資材実際価格がまだ指定されていない

文書ライン処理において資材実際価格が必要であるが、資材実際価格を取得できない場合は、可能な最善のオプションが検討されます。検索日より前で実際価格が指定されている最後の日付を使用するか、前回の資材実際価格が取得されます。

販売伝票の場合、ビジネス文書ラインが請求に発行されると資材実際価格が必須になります。利用可能な資材実際価格がない場合、エラーメッセージが表示されます。マニュアルで資材実際価格を指定するか、価格および値引の再計算パラメータ (tdpcg0240s000) セッションを使用して実際価格を再設定できます。購買伝票の場合は、購買伝票について実際価格が指定されていなくても請求に対して支払う必要があるため、この段階で資材実際価格は必須ではありません。ただし、購買伝票に請求金額が表示されます。

ステップ 6: 資材価格付加費用

資材ラインについて資材基準価格と実際価格が指定されている場合は、資材基準価格に付加費用が追加されます。資材価格付加費用は、資材実際価格から資材基準価格を減算して算出されます。

ステップ 7: 資材価格付加費用原価

管理費など、追加の材料費を含めるために、資材価格付加費用原価が計算されます。付加費用原価は、資材価格付加費用に付加費用係数を乗算することによって算出されます。

例

- 資材価格付加費用 = €0.432
- 資材価格付加費用係数 = 1.5

資材価格は、€0.648 (€0.432 × 1.5) の資材価格付加費用原価分、増加します。

ステップ 8: 伝票ライン価格

伝票ライン価格が決定されます。

一般ルール

合意、例外、品目資材内容、資材基準価格などの資材価格情報を取得する場合、もっとも詳細なレベルから検索が開始されます。情報が見つかると検索が終了します。

伝票について [価格/割引別取引先] が指定されている場合、この取引先について指定されている資材価格情報が最初に検索されます。この取引先について価格や割引の資材価格情報を取得できない場合は、購買元取引先または販売先取引先の情報を検索します。

日付有効資材価格マスターデータを取得するために使用される日付は、資材価格パラメータ (tcmpr0100m000) セッションの [検索日] (購買伝票) および [検索日] (販売伝票) フィールドを使用して決定されます。資材実際価格を取得するには、他の検索日が使用されます。

伝票ラインにカスタマイズ品目が含まれる場合、資材価格パラメータ (tcmpr0100m000) セッションの [派生元品目の使用] (購買伝票) および [派生元品目の使用] (販売伝票) フィールドを使用して資材価格情報の取得に使用する品目を決定する必要があります。

資材価格情報 (tcmpr1600m000) セッションで、ビジネス文書ラインの資材価格情報をマニュアルで指定できます。その結果、資材価格情報 (tcmpr1600m000) セッションの [資材価格合意] フィールドが空白になり、[マニュアル] チェックボックスがオンになります。

例外が適用される場合、資材価格合意または資材を伝票にマニュアルでリンクできます。ただし、警告メッセージが表示されます。

資材価格情報 - 販売見積

資材価格パラメータ (tcmpr0100m000) セッションの [販売の資材価格設定] チェックボックスがオンの場合、資材価格情報を販売見積ラインにリンクできます。

販売見積ライン (tdsls1501m000) セッションで販売見積ラインが指定されている場合、有効な資材価格合意が検索され、資材価格情報が販売見積ラインに含まれます。

機会 (tdsmi1110m000) セッション、プロジェクト販売見積の生成 (tipcs2240m000) セッション、および製品バリエーション (プロジェクト) 構造の生成 (tipcs2220m000) セッションなど、価格を伴うソースから販売見積ラインが生成される場合は、価格にすでに資材価格が含まれているため、資材価格情報は検索されません。

販売見積ライン (tdsls1501m000) セッションの [販売] タブにある [資材価格] グループボックスで、販売見積ラインの (資材) 価格を表示できます。このセッションの適切なメニューで [資材価格情報] をクリックすると、資材価格情報 (tcmpr1600m000) セッションに詳細な資材価格情報が表示されます。

販売見積の承認 (tdsls1211m000) セッションを使用して販売見積を承認する場合、承認時に資材価格情報を再設定するには、[資材価格の再設定] チェックボックスをオンにします。

販売見積ラインの資材価格情報は、販売見積ラインを販売オーダーラインに変換するときにデフォルトとして使用されます。販売見積ラインに含むことができるのは、資材基準価格のみです。資材価格付加費用および付加費用原価は、結果として生成される販売オーダーラインについて計算されます。

販売見積ラインの資材価格情報は、マニュアルで更新するか、LN で再設定処理中に更新できません。販売見積ラインの状況が [確認済] の場合、価格と値引は更新できません。

オプションで、販売見積 (予算 PCS) 構造の生成 (tdsls1201m100) セッションで予算構造を生成するときにファントム品目を関連する構成要素に置換できます。一般品目を標準品目に置換することによって、または品目セグメントを指定することによって、販売見積ライン品目を更新できます。品目が修正されると、派生元品目を使用して品目資材内容が取得されます。ファントム品目の価格は作成される販売見積ラインに配分されますが、資材価格情報のデフォルト値はファントムから取得されず、再設定もされません。構成要素に資材価格が含まれていると、合計価格が元のファントム価格と異なる場合がありますが、これは許容されません。

資材価格情報 - 販売オーダー

資材価格パラメータ (tcmpr0100m000) セッションの [販売の資材価格設定] チェックボックスがオンの場合、資材価格情報を販売オーダーラインにリンクできます。

販売オーダー - ライン (tdsls4100m900) セッションで販売オーダーラインが指定されている場合、有効な資材価格合意が検索されます。資材価格情報のデフォルト値は、販売オーダーの生成元、マスターデータ、またはリンクされた販売契約ラインから取得できます。

注意

資材価格パラメータ (tcmpr0100m000) セッションの契約資材価格がない場合、[契約資材価格がない場合、資材価格を適用] チェックボックスを使用して、リンクされた契約ラインに資材価格情報がない場合に販売オーダーラインの資材価格情報が検索されるかどうかを指定します。

販売オーダーライン (tdsls4101m000) セッションの [販売] タブにある [資材価格] グループボックスで、販売オーダーラインの (資材) 価格を表示できます。このセッションの適切なメニューで [資材価格情報] をクリックすると、資材価格情報 (tcmpr1600m000) セッションに詳細な資材価格情報が表示されます。

注意

資材価格情報 (tcmpr1600m000) セッションの [値引適用前の付加費用を含む] チェックボックスを使用して、販売オーダーラインの [ライン値引額]、[オーダー値引額]、および [オーダー金額] の計算を決定します。

販売オーダーライン生成

資材価格情報のデフォルト値が販売オーダーの生成元から取得される場合、資材価格情報 (tcmpr1600m000) セッションおよび文書の資材情報 (tcmpr1110m000) セッションの [マニュアル] チェックボックスはデフォルトでオンになります。その結果、販売オーダーラインの資材価格情報を再設定しても資材価格情報は上書きされません。

資材価格情報のデフォルト値が販売オーダーの生成元から取得されず、マスターデータから取得される場合、[マニュアル] チェックボックスはオンになりません。

更新

販売オーダラインの資材価格情報は、マニュアルで更新するか、LN で再設定処理中に更新できません。

販売オーダライン (tdsls4101m900) セッションで販売オーダラインに計画納入ラインがある場合、資材価格は販売オーダ (合計) ラインについてのみ表示されます。資材価格情報 (tcmpr1600m000) セッションに表示される資材価格情報は、関連する納入ラインに表示されます。

注意

資材価格情報のデフォルト値が、リンクされた販売契約ラインから取得される場合、販売契約パラメータ (tdsls0100s300) セッションの [契約価格と値引を常に使用] チェックボックスを使用して、販売オーダラインの資材価格情報を更新できるかどうかを指定します。

承認

販売オーダの承認 (tdsls4211m000) セッションを使用して販売オーダを承認する場合、承認時に資材価格情報を再設定するには、[資材価格情報の再設定] チェックボックスをオンにします。

販売オーダ (tdsls4100m000) セッションの適切なメニューにある [承認] オプションを使用して販売オーダを承認する場合、資材価格パラメータ (tcmpr0100m000) セッションの [資材情報の再設定] フィールドを使用して、資材価格情報を再設定するかどうかを指定します。

オーダ承認後に販売オーダラインの資材価格情報が修正されると、販売オーダの状況が [修正済] になり、オーダの再承認が必要になります。資材実際価格が修正されても、[承認済] 状況は影響を受けません。オーダ状況が [修正済] になるのは、マニュアルで資材実際価格を修正した場合のみです。

構成要素

販売オーダラインにリンクされた構成要素がある場合、構成要素ラインまたは販売部品表を使用して構成要素を管理できます。

販売オーダライン (tdsls4101m000) セッションの [構成要素処理] フィールドが [販売部品表] に設定されている場合、販売オーダ部品表 (tdsls4532m000) セッションに表示されるリンクされた部品表 (BOM) は更新できません。その結果、資材価格情報は販売オーダラインにのみリンクされ、品目資材内容の検索は部品表構成要素ではなく販売オーダライン品目にに基づきます。

販売オーダライン (tdsls4101m000) セッションの [構成要素処理] フィールドが [構成要素ライン] に設定されている場合、販売オーダライン構成要素 (tdsls4163m000) セッションの販売オーダラインに構成要素レベルが存在します。販売オーダラインで指定された品目は、出荷されないが請求処理に使用されるファントム品目として機能します。資材価格情報は販売オーダラインにリンクされ、構成要素にはリンクされません。ただし、品目資材内容の検索は構成要素に基づきます。

販売オーダライン - 構成要素 (tdsls4601m000) セッションの適切なメニューにある変更の提出オプションを使用して、承認後に構成要素ラインの修正を処理すると、資材価格情報が再設定されます。

コピーテンプレート

販売オーダーおよびオーダーラインのコピーは、コピーテンプレートに基づきます。コピーテンプレートで、[資材価格の計算] をコピー例外として指定できます。これによって資材価格情報が再設定され、対象販売オーダーラインのマスタデータから取得されます。

[資材価格の計算] をコピーテンプレートに例外として追加しない場合、資材価格情報はソースオーダーラインから対象オーダーラインにコピーされます。資材価格情報が適用されなくなった場合や修正された場合、情報はデフォルトで取得されず、再設定されます。

プロジェクト構造

オプションで、販売オーダー (プロジェクト PCS) 構造の生成 (tdsls4244m000) セッションでプロジェクト構造を生成するときにファントム品目に関連する構成要素に置換できます。一般品目を標準品目に置換することによって、または品目セグメントを指定することによって、販売オーダーライン品目を更新できます。品目が修正されると、派生元品目を使用して品目資材内容が取得されます。ファントム品目の価格は新しく作成されたオーダーラインに配分されますが、資材価格情報のデフォルト値はファントムから取得されず、再設定もされません。構成要素に資材価格が含まれていると、合計価格が元のファントム価格と異なる場合がありますが、これは許容されません。

実際納入

販売オーダーラインの品目が納入された後、販売オーダー実際納入ライン (tdsls4106m000) セッションおよび販売スケジュール実際納入ライン (tdsls3140m100) セッションに実際納入ラインが追加されます。資材価格情報のデフォルト値は、関連するオーダーラインから取得されます。

文書の資材情報 (tcmpr1110m000) セッションで、資材の [マニュアル実際価格] チェックボックスがオンの場合、この価格がデフォルトで実際納入ラインに設定されます。それ以外の場合、資材実際価格は実際納入ラインの追加時に再設定されます。その結果、可能な限り正確な価格が使用されます。

資材実際価格を取得できない場合は、可能な最善のオプションが検討されます。たとえば、請求日が必要でもまだわからない場合、請求日の代わりに実際取引日を使用しておおよその資材実際価格が取得されます。

納入後の価格および値引の変更 (tdsls4122m000) セッションおよび販売請求書ラインの価格および値引の変更 (tdsls4132m000) セッションで、品目の納入後に価格と割引を修正できます。これらのセッションの適切なメニューで [資材価格情報] を選択し、品目の納入後に資材価格情報 (tcmpr1600m000) セッションで資材価格情報を修正します。

消費

消費が処理され、一致する販売オーダーラインが見つかり、販売オーダー請求ライン (tdsls4106m100) セッションで販売請求ラインが生成されます。請求ラインの価格および資材価格情報は、オーダーラインから取得されます。

資材実際価格は、販売請求書ラインの状況が [フリー] から [承認済] に変わるときに再設定されます。一致する販売オーダーラインが見つからない場合は、委託請求オーダーが生成されます。オーダーの価格、割引、および資材価格情報はマスタデータから取得されます。

請求書

販売オーダーラインを請求に発行する場合、有効な資材実際価格が必要です。利用可能な資材実際価格がない場合、請求書を作成できず、エラーメッセージが表示されます。

マニュアルで請求書ラインの資材実際価格を指定するか、価格および値引の再計算パラメータ (tdpcg0240s000) セッションを使用して実際価格を再設定する必要があります。

資材価格情報 - 販売契約

資材価格パラメータ (tcmpr0100m000) セッションの [販売の資材価格設定] チェックボックスがオンの場合、資材価格情報を販売契約ラインにリンクできます。

販売契約ライン (tdsls3501m000) セッションで販売契約ラインが指定されている場合、有効な資材価格合意が検索され、資材価格情報が販売契約ラインに含まれます。

販売契約ライン (tdsls3501m000) セッションの [価格設定] タブにある [資材価格] グループボックスで、販売契約ラインの (資材) 価格を表示できます。このセッションの適切なメニューで [資材価格情報] をクリックすると、資材価格情報 (tcmpr1600m000) セッションに詳細な資材価格情報が表示されます。

販売契約ラインについて指定された資材価格情報は、リンクされた販売オーダーおよびスケジュールラインに使用されます。販売契約ラインに含むことができるのは、資材基準価格のみです。資材価格付加費用および付加費用原価は、リンクされた販売オーダーおよびスケジュールラインについて計算されます。

注意

資材価格パラメータ (tcmpr0100m000) セッションの [契約資材価格がない場合、資材価格を適用] チェックボックスを使用して、契約ラインに資材価格情報がない場合に販売オーダーおよびスケジュールラインの資材価格情報が検索されるかどうかを指定します。

販売契約ラインの資材価格情報は、マニュアルで更新するか、LN で再設定処理中に更新できます。販売契約ラインの状況が [有効] の場合、資材価格情報を更新できません。

資材価格情報 - 販売スケジュール

資材価格パラメータ (tcmpr0100m000) セッションの [販売の資材価格設定] チェックボックスがオンの場合、資材価格情報を販売スケジュールラインにリンクできます。

販売スケジュール (tdsls3611m000) セッションで販売スケジュールラインが生成される場合、リンクされた販売契約ラインから資材価格情報が取得されます。この価格情報は、スケジュールライン番号レベルまたは計画倉庫オーダーラインレベルでリンクされます。販売スケジュールが、価格が指定された処理済販売発行から生じている場合、この価格はスケジュールライン/計画倉庫オーダーラインでも使用されます。この場合、スケジュールライン/計画倉庫オーダーラインの資材価格情報は取得されません。

注意

資材価格パラメータ (tcmpr0100m000) セッションの [契約資材価格がない場合、資材価格を適用] チェックボックスを使用して、リンクされた契約ラインに資材価格情報がない場合に販売スケジュールラインの資材価格情報が検索されるかどうかを指定します。

販売スケジュール (tdsls3611m000) セッションの関係ラインタブにある適切なメニューで、以下をクリックします。

- [価格と値引] をクリックすると価格と値引 (tdpcg1600m000) セッションが開始します。販売スケジュールライン/計画倉庫オーダーラインの [価格] および [資材価格] を表示できます。
- [資材価格情報] をクリックすると資材価格情報 (tcmpr1600m000) セッションが開始します。販売スケジュールライン/計画倉庫オーダーラインの詳細な資材価格情報を表示できます。

更新

販売スケジュールライン/計画倉庫オーダーラインの資材価格情報は更新できません。

リンクされた契約ラインについて指定された資材価格情報が修正されても、スケジュールライン/計画倉庫オーダーラインは更新されません。

承認

販売スケジュールについて計画倉庫オーダを生成する必要がある場合、資材価格情報は、計画倉庫オーダの生成時に承認の際に生成されます。

計画倉庫オーダが適用されない場合、資材価格情報はスケジュールラインの作成時に生成されません。

実際納入

販売スケジュールラインまたは計画倉庫オーダの品目が納入された後、販売スケジュール実際納入ライン (tdsls3140m000) セッションおよび販売スケジュール実際納入ライン (tdsls3140m100) セッションに実際納入ラインが追加されます。資材価格情報のデフォルト値は、関連するスケジュールラインから取得されます。

注意

リンクされた契約ラインについて、販売契約ライン (tdsls3501m000) セッションの [出荷時に価格と値引を再設定] チェックボックスがオンの場合、資材価格情報のデフォルト値はスケジュールラインから取得されず、実際納入ラインの追加時に再設定されます。

資材実際価格を取得できない場合は、可能な最善のオプションが検討されます。たとえば、請求日が必要でもまだわからない場合、請求日の代わりに実際取引日を使用しておよその資材実際価格が取得されます。

実際納入の価格と値引の変更 (tdpcg1600m100) セッションで、スケジュール納入後に価格と割引を修正できます。品目の納入後に実際納入の価格と値引の変更 (tdpcg1600m100) セッションの適切なメニューで [資材価格情報] を選択して、資材価格情報 (tcmpr1600m000) セッションで資材価格情報を修正します。

消費

消費が処理され、一致する販売スケジュールラインが見つかり、販売スケジュール請求ライン (tdsls3140m200) セッションで販売請求ラインが生成されます。請求ラインの価格および資材価格情報は、スケジュールライン/計画倉庫オーダラインから取得されます。

資材実際価格は、消費販売スケジュール請求書ラインの作成時に決定されます。一致する販売スケジュールラインが存在しない場合は、委託請求オーダが生成されます。オーダの価格、割引、および資材価格情報はマスタデータから取得されます。

請求書

販売スケジュールラインを請求に発行する場合、有効な資材実際価格が必要です。利用可能な資材実際価格がない場合、請求書を作成できず、エラーメッセージが表示されます。

マニュアルで請求書ラインの資材実際価格を指定するか、価格および値引の再計算パラメータ (tdpcg0240s000) セッションを使用して実際価格を再設定する必要があります。

販売スケジュール請求書ラインについて請求書訂正が指定されている場合は、マイナスの数量が適用されます。金額は、価格、割引、および資材価格に基づいて計算されます。請求書訂正の資材価格情報は更新できません。

資材価格情報 - 見積依頼 (RFQ)

資材価格パラメータ (tcmpr0100m000) セッションの [調達の資材価格設定] チェックボックスがオンの場合、資材価格情報を回答ラインにリンクできます。

入札者から受領した見積依頼回答は、見積依頼回答 (tdpur1506m000) セッションで指定できます。見積依頼回答には、1つまたは複数の回答ラインが含まれます。見積依頼回答 (tdpur1506m000) セッションで回答ライン (または代替回答ライン) の状況が [回答済] に設定されている場合、有効な資材価格合意が検索され、価格情報データが回答ラインに含まれます。見積依頼回答が契約から生成される場合、資材価格情報はリンクされた購買契約ラインから取得されます。

見積依頼回答 (tdpur1506m000) セッションの [価格設定] タブにある [資材価格] グループボックスで、回答ラインの (資材) 価格を表示できます。このセッションの適切なメニューで [資材価格情報] をクリックすると、資材価格情報 (tcmpr1600m000) セッションに詳細な資材価格情報が表示されます。

入札者の回答を交渉するには、見積依頼交渉 (tdpur1606m000) セッションで対案を指定できます。見積依頼交渉は、入札者の回答と購買担当の対案を含みます。

見積依頼交渉 (tdpur1109m000) セッションの [価格設定] にある [価格] グループボックスで、交渉ラインの (資材) 価格を表示できます。このセッションの適切なメニューで [回答資材価格情報] または [対案資材価格情報] をクリックすると、資材価格情報 (tcmpr1600m000) セッションが開始されます。

確認されていない交渉の資材価格情報は、マニュアルで更新するか、LN で再設定処理中に更新できます。見積依頼回答の状況が [受入済] の場合、価格と値引は更新できません。

[受入済] 見積依頼回答ラインを購買契約または購買オーダーに変換するときに、回答ラインの資材価格情報がデフォルトで契約ラインまたはオーダーラインに入力されます。回答ラインに含むことができるのは、資材基準価格のみです。資材価格付加費用および付加費用原価は、結果として生成される購買オーダーラインについて計算されます。

[受入済] 見積依頼回答ラインを価格帳に変換するときに、回答ラインの資材価格情報を価格帳にリンクできません。

資材価格情報 - 購買オーダー

資材価格パラメータ (tcmpr0100m000) セッションの [調達の資材価格設定] チェックボックスがオンの場合、資材価格情報を購買オーダーラインにリンクできます。

購買オーダー - ライン (tdpur4100m900) セッションで購買オーダーラインが指定されている場合、有効な資材価格合意が検索されます。資材価格情報のデフォルト値は、購買オーダーの生成元、マスターデータ、またはリンクされた購買契約ラインから取得できます。

注意

資材価格パラメータ (tcmpr0100m000) の [契約資材価格がない場合、資材価格を適用] チェックボックスを使用して、リンクされた契約ラインに資材価格情報がない場合に購買オーダーラインの資材価格情報が検索されるかどうかを指定します。

購買オーダーライン (tdpur4101m000) セッションの [購買] タブにある [資材価格] グループボックスで、購買オーダーラインの (資材) 価格を表示できます。このセッションの適切なメニューで [資材価格情報] をクリックすると、資材価格情報 (tcmpr1600m000) セッションに詳細な資材価格情報が表示されます。

注意

資材価格情報 (tcmpr1600m000) セッションの [値引適用前の付加費用を含む] チェックボックスを使用して、購買オーダーラインの [ライン値引額]、[オーダー値引額]、および [オーダー金額] が算出されます。

購買オーダーラインの生成

資材価格情報のデフォルト値が購買オーダーの生成元から取得される場合、資材価格情報 (tcmpr1600m000) セッションおよび文書の資材情報 (tcmpr1110m000) セッションの [マニュアル] チェックボックスはデフォルトでオンになります。その結果、購買オーダーラインの資材価格情報を再設定しても資材価格情報は上書きされません。

資材価格情報のデフォルト値が購買オーダーの生成元から取得されず、マスターデータから取得される場合、[マニュアル] チェックボックスはオンになりません。

注意

価格が指定されたソースから購買オーダーラインが生成される場合、資材価格情報は検索されません。

統合

購買オーダーラインを統合するには、ラインの資材価格情報が同じである必要があります。2つのオーダーラインの資材価格情報が異なる場合、これらのラインは、2つの詳細ラインを持つ合計ラインに統合されません。ただし、2つの別々のラインを持つ新しい購買オーダーを作成できます。その結果、資材価格情報のデフォルト値は、ターゲットからソースオーダーラインに取得されます。

更新

購買オーダーラインの資材価格情報は、マニュアルで更新するか、再設定処理中に更新できます。

購買オーダーライン (tdpur4601m000) セッションで購買オーダーラインにライン詳細がある場合、ライン詳細の資材価格ではなく、購買オーダー (合計) ラインの資材価格が表示されます。資材価格情報 (tcmpr1600m000) セッションに表示される資材価格情報が、関連するライン詳細にデフォルトで表示されます。

注意

資材価格情報のデフォルト値が、リンクされた購買契約ラインから取得される場合、購買契約パラメータ (tdpur0100m300) セッションの [契約価格と値引を常に使用] チェックボックスを使用して、購買オーダーラインの資材価格情報を更新できるかどうかを指定します。

承認

購買オーダーの承認 (tdpur4210m100) セッションで購買オーダーを承認する場合、承認時に資材価格情報を再設定するには、[資材価格情報の再設定] チェックボックスをオンにします。

購買オーダー (tdpur4100m900) セッションまたは購買オーダー (tdpur4100m000) セッションの適切なメニューにある [承認] オプションを使用して購買オーダーを承認する場合、資材価格パラメータ (tcmpr0100m000) セッションの [資材情報の再設定] フィールドを使用して、資材価格情報を再設定するかどうか指定します。

オーダー承認後に購買オーダーラインの資材価格情報が修正されると、購買オーダーの状況が [修正済] になり、オーダーの再承認が必要になります。資材実際価格が修正されても、[承認済] 状況は影響を受けません。オーダー状況が [修正済] になるのは、マニュアルで資材実際価格を修正した場合のみです。

入庫

購買オーダーラインについて入庫が生成された後、入庫は購買入庫 (tdpur4106m000) セッションに追加されます。

購買オーダーラインで指定された [支払] フィールドを使用して、資材価格情報と入庫の間のリンクが決定されます。

- [貨物引換払]
入庫が確認されると、購買買掛入庫 (tdpur4130m000) セッションで購買買掛入庫が生成されます。資材価格情報のデフォルト値は、関連するオーダーラインから取得され、購買入庫 (tdpur4106m000) セッションおよび購買買掛入庫 (tdpur4130m000) セッションにリンクされます。

- [使用払]
商品が消費されると、購買買掛入庫 (tdpur4130m000) セッションで購買買掛入庫が生成されます。購買オーダーパラメータ (tdpur0100m400) セッションおよびオーダー条件 (tctrm1130m000) セッションの [価格決定基準] フィールドを使用して、資材価格情報の取得処理が決定されます。このデータは購買買掛入庫 (tdpur4130m000) セッションおよび購買買掛入庫 (tdpur4130m000) セッションにリンクされます。
このフィールドの設定によって、以下のようになります。
- [補充] に設定されている場合、資材価格情報のデフォルト値は、関連するオーダーラインから取得されます。
- [消費] に設定されている場合、資材価格情報は買掛入庫の生成時に再設定されます。オーダーラインが契約にリンクされている場合、資材価格情報は購買契約ラインから取得されます。

注意

リンクされた契約ラインについて、購買契約ライン (tdpur3101m000) セッションの [入庫時に価格と値引を再設定] チェックボックスがオンの場合、資材価格情報のデフォルト値はオーダーラインから取得されます。購買入庫 (tdpur4106m000) セッションで入庫が確認されるか ([貨物引換払])、購買買掛入庫 (tdpur4130m000) セッションで買掛入庫が生成されると ([使用払])、価格情報が再設定されます。

資材実際価格を取得できない場合は、可能な最善のオプションが検討されます。たとえば、請求日が必要でもまだわからない場合、請求日の代わりに実際入庫日または使用日を使用しておおよその資材実際価格が取得されます。

購買買掛入庫の価格および値引の変更 (tdpur4132m000) セッションで、実際入庫 ([貨物引換払]) または買掛入庫 ([使用払]) 別に入庫の確認後に価格と割引を修正できます。

入庫後の価格および値引の変更 (tdpur4122m000) セッションで、入庫の確認後に合計または詳細ラインの価格および値引を修正できます。

入庫後に購買買掛入庫の価格および値引の変更 (tdpur4132m000) セッションまたは入庫後の価格および値引の変更 (tdpur4122m000) セッションの適切なメニューで [資材価格情報] を選択して、資材価格情報 (tcmpr1600m000) セッションで資材価格情報を修正します。

委託補充および支払

委託補充オーダーラインの場合、資材価格情報はマスタデータから取得されます。

委託在庫の消費後、委託支払オーダーラインが生成されます。オーダーラインの資材価格情報取得処理は、購買オーダーパラメータ (tdpur0100m400) セッションまたはオーダー条件 (tctrm1130m000) セッションの [価格決定基準] フィールドに基づきます。

このフィールドの設定によって、以下のようになります。

- [補充] に設定されている場合、資材価格情報のデフォルト値は補充オーダーラインから支払オーダーラインに取得されます。
- [消費] に設定されている場合、資材価格情報は委託支払オーダーの生成時に再設定されます。

返品オーダー

オリジナル伝票が購買返品オーダーラインにリンクされている場合、資材価格情報のデフォルト値は、オリジナル伝票から取得されます。コピーされた資材実際価格について、文書の資材情報 (tcmpr1110m000) セッションの [マニュアル実際価格] チェックボックスがオンになります。

オリジナル伝票が購買返品オーダーラインにリンクされていない場合、資材価格情報はマスターデータから取得されます。

請求書

商品が入庫された後、買掛金で請求書の照合と承認を行うことができます。

請求額は、実際資材価格に基づきます。したがって、実際入庫価格を使用して入庫照合が行われます。

資材実際価格の差異による入庫額と請求額の差異は、差異処理として記録されます。

発注先段階的支払

発注先段階的支払によって請求される購買オーダーラインは、入庫後に価格を変更したり資材価格を再設定したりできません。したがって、リンクされた資材価格合意で資材実際価格の決定に使用する日付が [請求日] に設定されている場合、段階的支払による請求では、この日付が [実際の取引日] に変更されます。

実際入庫日が価格日付として使用される場合、合計オーダーライン金額と合計段階的支払金額が異なる場合があります。この差異を調整するには、訂正段階的支払ラインを作成するか、オープン段階的支払ラインを使用します。差異を訂正しない場合、納入済購買オーダーの処理時に段階的支払をクローズするときに、差異取引が記録されます。

資材価格情報 - 購買契約

資材価格パラメータ (tcmpr0100m000) セッションの [調達の資材価格設定] チェックボックスがオンの場合、資材価格情報を[購買契約ライン](#)にリンクできます。

購買契約ライン (tdpur3101m000) セッションで購買契約ラインが指定されている場合、有効な資材価格合意が検索され、資材価格情報が購買契約ラインに含まれます。

購買契約ライン (tdpur3101m000) セッションの [一般] タブにある [価格] グループボックスで、購買契約ラインの (資材) 価格を表示できます。このセッションの[適切なメニュー](#)で [資材価格情報] をクリックすると、資材価格情報 (tcmpr1600m000) セッションに詳細な資材価格情報が表示されます。

注意

資材価格は[一般価格リスト](#)と組み合わせて使用することはできません。このため、[オプション基準価格] チェックボックスがオンになっている契約ラインは、資材価格情報を持つことができません。

購買契約ラインについて指定された資材価格情報は、デフォルトとして、リンクされた購買オーダーおよびスケジュールラインに使用されます。購買契約ラインに含むことができるのは、[資材基準価格](#)のみです。[資材価格付加費用](#)および[付加費用原価](#)は、リンクされた購買オーダーおよびスケジュールラインについて計算されます。

注意

資材価格パラメータ (tcmpr0100m000) セッションの [契約資材価格がない場合、資材価格を適用] チェックボックスを使用して、契約ラインに資材価格情報がない場合に購買オーダーおよびスケジュールラインの資材価格情報が検索されるかどうかを指定します。

購買契約ラインの資材価格情報は、マニュアルで更新するか、LN で再設定処理中に更新できません。購買契約ラインの状況が [有効] の場合、資材価格情報を更新できません。

資材価格情報 - 購買スケジュール

資材価格パラメータ (tcmpr0100m000) セッションの [調達の資材価格設定] チェックボックスがオンの場合、資材価格情報を購買スケジュールラインにリンクできます。

購買スケジュール (tdpur3610m000) セッションで購買スケジュールラインが生成される場合、リンクされた購買契約ラインから資材価格情報が取得されます。

注意

資材価格パラメータ (tcmpr0100m000) セッションの [契約資材価格がない場合、資材価格を適用] チェックボックスを使用して、リンクされた契約ラインに資材価格情報がない場合に購買スケジュールラインの資材価格情報が検索されるかどうかを指定します。

購買スケジュール (tdpur3610m000) セッションの [スケジュールライン] タブにある 適切なメニュー で、以下をクリックします。

- [価格と値引] をクリックすると価格と値引 (tdpcg1600m000) セッションが開始します。購買スケジュールラインの [価格] および [資材価格] を表示できます。
- [資材価格情報] をクリックすると資材価格情報 (tcmpr1600m000) セッションが開始します。購買スケジュールラインの詳細な資材価格情報を表示できます。

更新

購買スケジュールラインの資材価格情報は更新できません。

リンクされた契約ラインの資材価格情報が修正されても、スケジュールラインは更新されません。

入庫

購買スケジュールラインについて入庫が作成された後、入庫は購買スケジュール - 入庫 (tdpur3115m200) セッションに追加されます。

購買スケジュールラインで指定された [支払] フィールドを使用して、資材価格情報と入庫の間のリンクが決定されます。

- [貨物引換払]
入庫が確認されると、スケジュールの購買買掛入庫 (tdpur3118m000) セッションで購買買掛入庫が生成されます。資材価格情報のデフォルト値は、関連するスケジュールライン

から取得され、購買スケジュール - 入庫 (tdpur3115m200) セッションおよびスケジュールの購買買掛入庫 (tdpur3118m000) セッションにリンクされます。

■ [使用払]

商品が消費されると、スケジュールの購買買掛入庫 (tdpur3118m000) セッションで購買買掛入庫が生成されます。購買オーダーパラメータ (tdpur0100m400) セッションおよびオーダー条件 (tctrm1130m000) セッションの [価格決定基準] フィールドを使用して、資材価格情報の取得処理が決定されます。このデータは購買スケジュール - 入庫 (tdpur3115m200) セッションおよびスケジュールの購買買掛入庫 (tdpur3118m000) セッションにリンクされます。

このフィールドの設定によって、以下のようになります。

- [補充] に設定されている場合、資材価格情報のデフォルト値は、関連するスケジュールラインから取得されます。
- [消費] に設定されている場合、資材価格情報は買掛入庫の生成時に再設定されます。スケジュールラインが契約にリンクされている場合、資材価格情報は契約ラインから取得されます。

注意

リンクされた契約ラインについて、購買契約ライン (tdpur3101m000) セッションの [入庫時に価格と値引を再設定] チェックボックスがオンの場合、資材価格情報のデフォルト値はスケジュールラインから取得されます。購買スケジュール - 入庫 (tdpur3115m200) セッションで入庫が確認されるか ([貨物引換払])、スケジュールの購買買掛入庫 (tdpur3118m000) セッションで買掛入庫が生成されると ([使用払])、価格情報が再設定されます。

資材実際価格を取得できない場合は、可能な最善のオプションが検討されます。たとえば、請求日が必要でもまだわからない場合、請求日の代わりに実際入庫日または使用日を使用しておおよその資材実際価格が取得されます。

購買買掛入庫の価格および値引の変更 (tdpur4132m000) セッションで、スケジュール入庫の確認後に価格と割引を修正できます。入庫後に購買買掛入庫の価格および値引の変更 (tdpur4132m000) セッションの適切なメニューで [資材価格情報] を選択して、資材価格情報 (tcmpr1600m000) セッションで資材価格情報を修正します。

請求書

商品が入庫された後、買掛金で請求書の照合と承認を行うことができます。

請求額は、実際資材価格に基づきます。したがって、実際入庫価格を使用して入庫照合が行われます。

資材実際価格の差異による入庫額と請求額の差異は、差異処理として記録されます。

資材価格情報の更新 - 一般的論理

購買伝票または販売伝票用に資材価格情報が取得された後、資材価格情報を更新できます。

資材価格情報は、以下の方法で更新できます。

- 資材価格情報をマニュアルで変更する
- 資材価格を再設定する
- 親伝票ラインを更新する

資材価格情報をマニュアルで変更する

取得された資材価格情報をマニュアルで修正すると、デフォルトで、関連セッションの [マニュアル] チェックボックスがオンになります。資材実際価格をマニュアルで修正すると、デフォルトで、文書の資材情報 (tcmpr1110m000) セッションの [マニュアル実際価格] チェックボックスがオンになります。

資材価格情報のコピーはマニュアル処理です。そのため、資材価格情報をコピーすると、デフォルトで [マニュアル] チェックボックスがオンになります。

資材価格を再設定する

資材価格情報 (tcmpr1600m000) セッションで適切なメニューの [資材価格の再設定] をクリックして価格および値引の再計算パラメータ (tdpcg0240s000) セッションを開始します。ここで、伝票の資材価格情報を再設定できます。

オプションで、マニュアルで追加または修正された資材情報を再設定処理から除外するか、マニュアルでの変更を維持できます。

親伝票ラインを更新する

伝票ラインについて取引先、品目、有効化コード、オプションリスト ID、日付などのフィールドを修正すると、リンクされた資材価格情報が常に再設定されます。

資材価格パラメータ (tcmpr0100m000) セッションの [資材情報の再設定] (購買伝票) および [資材情報の再設定] (販売伝票) フィールドを使用して、親伝票ラインが (再) 承認されたときにリンクされた資材価格情報を管理するための処理が決まります。価格情報を自動的に再設定するか、対話式で再設定するか、再設定しないようにできます。

[資材情報の再設定] が [対話式] の場合、マニュアルで更新された資材価格情報も再設定するかどうか指定できます。[資材情報の再設定] が [自動] の場合、マニュアルで更新された伝票価格合意および伝票資材情報は、再設定処理に含まれません。

伝票ライン価格の更新

資材が伝票ラインにリンクされている場合、伝票ラインの価格をマニュアルで更新できます。ただし、資材価格よりも高い価格を指定する必要があります。そうでない場合はエラーメッセージが出力されます。

例

伝票ライン	品目 A を 10 個
資材価格	12 ユーロ
価格 (資材価格付加費用を除く)	20 ユーロ
資材価格付加費用	5 ユーロ
伝票ライン価格	25 ユーロ (20+5)

価格を 25 ユーロから 11 ユーロに変更するとエラーメッセージが表示されます。これは、価格は 12 ユーロを下回ってはいけないためです。

基準価格と実際価格は、文書の資材情報 (tcmpr1110m000) セッションで減らすことができます。

伝票ラインにリンクされた資材の資材基準価格が修正された場合、伝票ラインに資材価格付加費用が含まれていなければ、伝票ラインの [価格] フィールドは更新されません。これは、資材基準価格が価格に含まれるとみなされるためです。価格の変更は、資材の付加費用を計算する場合のみ処理されます。

例

品目	銅線
販売価格	50 ユーロ/ kg
資材	銅
資材基準価格	35 ユーロ/ kg
資材実際価格	37 ユーロ/ kg
販売品目データ	
販売価格	50 ユーロ/ kg
資材価格	35 ユーロ/ kg

資材価格付加費用を伴う販売オーダーライン

- 販売オーダーライン価格52 ユーロ/ kg (販売価格 50 ユーロ + 資材価格付加費用 2 ユーロ)
- 資材価格37 ユーロ/ kg

販売オーダーラインについて指定される資材価格は、以下ようになります。

- 資材基準価格35 ユーロ/kg
- 資材実際価格37 ユーロ/kg
- 資材価格付加費用2 ユーロ/kg

資材基準価格が 35 ユーロから 40 ユーロに変わると、資材価格付加費用は -3 ユーロ (37 ユーロ - 40 ユーロ) に変わります。その結果、販売オーダーライン価格は 47 ユーロ (販売価格 50 ユーロ + 資材価格付加費用 -3 ユーロ) になります。

資材価格付加費用を伴わない販売オーダーライン

- 販売オーダーライン価格50 ユーロ/ kg (販売価格 50 ユーロ)
- 資材価格35 ユーロ/kg

販売オーダーラインについて指定される資材価格は、以下ようになります。

- 資材基準価格35 ユーロ/kg
- 資材実際価格00 ユーロ/kg
- 資材価格付加費用00 ユーロ/kg

資材基準価格が 35 ユーロから 40 ユーロに変わっても、販売オーダーライン価格は 50 ユーロのままです。

構成要素

キットの一部として他の品目と組み合わせて請求される販売品目

適切なメニュー

コマンドは、[表示]、[参照]、および [アクション] メニューに分散されているか、ボタンとして表示されます。旧リリースの LN および Web UI では、これらのコマンドは [特定] メニューに配置されます。

一般価格リスト

一般価格リスは、特定の製品バリエーションに対する価格の計算基準を設定します。部品表の一般品目ごとに価格が個別に計算されます。作業ラインごとに制約規則が適用できます。

販売スケジュール

資材の計画供給のタイムテーブル。販売スケジュールは、頻繁に納入される長期の販売をサポートします。品目、販売先取引先、出荷先取引先、および納入パラメータが同じである要求はすべて、同じ販売スケジュールに保存されます。

販売オーダーライン

販売オーダーは、特定の条件にしたがって顧客に納入される品目を含みます。販売オーダーのラインは、オーダーされる品目、および関連する価格合意や納期の記録に使用されます。

例外

有効な品目の標準構成の偏差。たとえば、ある有効化コードに特定の部品表ラインまたは工順作業を使用するかどうかを例外として指定できます。例外は通常、顧客の要望や技術的なアップグレードなどに対応するために作成します。

例外

資材価格計算から除外する必要がある伝票タイプまたは資材

一般品目

複数の製品バリエーションに存在する品目。一般品目に対して製造活動を実行する前に、品目を設定して、必要な製品バリエーションを決定する必要があります。

例

一般品目: 電気ドリル

オプション:

- 3つの電源 (バッテリー、12 V または 220 V)
- 2色 (青、グレー)

合計 6 つの製品バリエーションをこれらのオプションで製造できます。

購買スケジュール

資材の計画供給のタイムテーブル。購買スケジュールは、頻繁に納入される長期の購買をサポートし、通常、購買契約によって支援されます。品目、購買元取引先、出荷元取引先、購買オフィス、および倉庫が同じである要求はすべて、1 つのスケジュールに保存されます。

統合

異なるソースに由来するいくつかの購買オーダーを、1 つの購買オーダーにグループ化すること。統合によって購買オーダーの数が減り、利用可能な最善の価格および値引を得ることができます。

ファントム

製造品目の一部として生産される組立部品であり、それぞれ固有の工順が設定されていることがあります。

ファントムは、場合によってはいくつかの在庫が存在することもあります。通常は在庫が保有されることはありません。計画システムは、ファントムの資材所要量を作成しませんが、資材の所要量をファントム品目から直ちにその構成要素に移動します。ファントムは主に、モジュール化された製品構造を作成するために定義します。

例

冷蔵庫のドアは、冷蔵庫の部品表でファントム品目として定義されます。ドアの資材は、製造オーダーの冷蔵庫に関する資材リストにリストされます。

有効化コード

有効化構成品目に関する差異をモデル化するために使用する、販売オーダーラインやプロジェクト成果物ラインなどの参照番号

消費

顧客による、または顧客の代理による、委託品目の倉庫からの出庫。顧客は、これらの品目を販売、製造などに使用することを目的としています。品目が出庫されると、顧客はその品目の所有者になるため、発注先に支払を実行する必要があります。

資材

品目を構成する物。たとえば、木材、ナイロン、銅、金などです。

キット

顧客からのオーダー時に合わせて納入される事前定義された品目のリスト

キットを定義することで、オーダー入力が容易にできます。キットは、構成要素のリストが含まれていて、単一品目としてオーダーされ、価格設定されます。販売オーダーラインでは、構成品目がリンクされます。キットの標準原価は、構成要素の標準原価の合計です。

キットの構成要素には、次のタイプがあります。

- 購買品目
- 製造品目

例: PC キットの構成要素は、通常、メインキャビネット、モニター、キーボード、およびマウスで構成されます。日曜大工 (DIY) 製品の場合、道具小屋キットに、壁や屋根の部品、蝶番付のドア、ドアの取っ手、および鍵を含めることができます。

計画済倉庫オーダー

販売で作成されるオーダーであり、ほとんどのスケジュール関連処理の基準となります。販売スケジュールの承認時に作成される計画済倉庫オーダーであり、これによってスケジュール更新および改訂が倉庫オーダーから分離されます。これは、販売と倉庫管理および請求との間のインターフェースにもなります。

リストグループ

リスト品目を分類する手段。たとえば、販売オーダーに使用される複数のリスト品目を 1 つの SLS リストグループによって分類できます。各リスト品目は、複数のリストグループに関連付けることができます。

販売見積

発注先が見込購買者に提案した商品またはサービスの価格計算書、販売条件、記述、入札。顧客データ、支払条件および受渡条件はヘッダに含まれます。実際の品目についてのデータは見積ラインに入力されます。見積依頼への回答として与えられる場合、入札は通常、販売申込とみなされます。

製品バリエーション

構成可能品目の一意の構成。バリエーションは構成処理に由来し、特徴オプション、構成要素、作業などの情報を含みます。

例

構成可能品目: 電気ドリル

オプション:

- 3 つの電源 (電池、12 V または 220 V)
- 2 色 (青、灰)

これらのオプションから合計 6 つの製品バリエーションが生じます。

返品オーダ

返品出荷がレポートされる購買オーダまたは販売オーダ。返品オーダにはマイナスの金額のみが記入できます。

コピーテンプレート

既存のオーダをターゲットオーダにコピーする場合の基準となるコピー例外の標準セット

見積依頼回答

見積依頼への回答。入札が記載された 1 つ以上の回答ラインを含んでいます。入札では商品またはサービスが特定の価格および販売条件で提供され、販売申込と見なすことができます。

発注先段階的支払

顧客から発注先に一定期間にわたって行われる分割払。段階的支払を使用すると、顧客は、品目を実際に受け取る前または受け取った後に品目について支払を行うことができます。品目の請求フローは、その商品フローから分離されます。

略字: SSP

資材価格

資材の価格。以下場合があります。

- 資材基準価格 (資材実際価格が (まだ) 適用されない場合)
- 次の構成要素の合計: 資材基準価格 + 資材価格付加費用 + 資材価格付加費用原価 (資材実際価格が適用される場合)

伝票ライン価格

伝票ラインの価格、すなわち品目価格と合計資材価格の合計

設計モジュール

製造の組立計画モジュールで、製品設計構造の固定部分をモデル化するために使用される仮想品目。製品設計構造は、製造の組立管理モジュールに対する組立オーダの生成に使用されます。

設計モジュールは設計品目のツリー構造 (部品表 (BOM)) の最上位に位置します。組立計画で組立オーダが生成されると、LN の品目基準データテーブル内に品目タイプ [設計モジュール] が作成されます (この品目タイプが作成されていない場合)。設計モジュールはオーダ内容および完成状態構造の一部です。

品目資材内容

品目の一部である資材の数量

資材実際価格

特定日付の資材交換から取得される資材の実際の価格

資材基準価格

資材の基本的な価格で、資材価格付加費用の計算の基準として使用されます。

価格が変動する資材の場合、資材基準価格を使用することによって、高い資材付加費用を避け現実的な初期価格を保証できます。

例

品目「プラスチック被覆銅線」の場合、価格の主要な部分として銅の価格が含まれます。その他に、プラスチック被覆の費用、および銅線にプラスチック被覆を施す製造原価が含まれます。

プラスチック被覆銅線 1 メートルの原価が \$8.00 の場合、価格の内訳は次のようになります。

- 銅線 1 メートル (1 kg) = \$6.978
- プラスチック被覆 = \$0.422
- 製造原価 = \$0.600

初期価格がわずか \$1.022 で (変動する) 資材価格付加費用が \$6.978 にもなる、という状況为了避免のため、銅の (おおよその) 資材基準価格を \$6.500 に指定できます。そうすると、初期価格が \$7.522 ($0.422 + 0.600 + 6.500$)、資材価格付加費用が \$0.478 ($6.978 - 6.500$) となり、より現実的な数字となります。

資材交換

産業資材取引および価格リスク管理の国際基準であり、ここから実際資材価格が取得されます。

資材交換の例: ロンドン金属取引所 (LME)、Deutsche Elektrolyt-Kupfer-Notierung für Leitmaterial (DEL)、シンガポール金属取引所 (SIME)

資材価格合意

価格表または取引先、および品目または品目グループ別の一般合意で、資材を取得し資材価格を計算するために使用される日付と前提条件が含まれています。

資材価格付加費用

資材基準価格に追加される付加費用で、資材実際価格から資材基準価格を減算して算出されます。資材実際価格は変動するため、資材価格付加費用も変動します。

資材価格付加費用原価

管理費など、追加の材料費のための原価。付加費用原価は、資材価格付加費用に付加費用係数を乗算することによって算出されます。

例

- 資材価格付加費用 = €0.432
- 資材価格付加費用係数 = 1.5

資材価格は、€0.648 ($€0.432 \times 1.5$) の資材価格付加費用原価分、増加します。

オプションリスト ID

構成済品目のオプションと特徴の ID。この ID は、需要と供給を一致させるために品目仕様で 사용됩니다。

SSP

次を参照してください: 発注先段階的支払 (ページ 52)

契約ライン

ある期間の、1つの品目の供給に関する、商業条件とロジスティック条件の両方についての1つの顧客と1つの発注先との合意

コピー例外

ソースオーダーからターゲットオーダーに自動的にコピーされず、コピーアクションを定義する必要があるフィールド

購買契約ライン

特定品目についての発注先との合意。購買契約ラインには、一定期間の1つの品目の供給に関する取引条件およびロジスティック条件の両方が含まれます。

法人購買契約の場合、購買契約ラインは [合計] ラインです。これは購買契約ライン詳細にリンクされているからです。

購買オーダーライン

次のような内容についての詳細情報が記録された購買オーダーのライン

- オーダー品目
- 価格合意
- 納期
- 出荷
- 請求

購買オーダーに1つ以上のラインを持つことができます。

購買の買掛入庫

請求がいつ購買商品に適用されるかを示し、オーダーまたはスケジュールの買掛および請求明細が含まれています。購買買掛入庫を使用して、買掛金モジュールとの間の更新が処理されます。

購買商品の支払が [使用払] に設定されている場合、購買オーダーまたは購買スケジュールに関連する在庫が消費されたとき、つまり倉庫から出庫されたときに買掛入庫が生成されます。支払が [貨物引換払] に設定されている場合、購買商品が入庫した時点で買掛入庫が生成されます。

回答ライン

見積依頼ラインへの回答であり、その見積依頼ラインへの入札者の入札が含まれています。入札では商品またはサービスが特定の価格および販売条件で提供され、販売申込と見なすことができます。

部品表 (BOM)

製造品目で使用されるすべての部品、原料、および半組立品のリスト。このリストには、品目の製造に必要な各部品の数量が示されています。部品表は、製造品目のシングルレベルの製品構造を示します。

カスタマイズ品目

特定のプロジェクトについての顧客仕様で生産された品目。カスタマイズ品目は、カスタマイズ部品表やカスタマイズ工順を持つことができ、標準品目としては通常は使用できません。ただし、カスタマイズ品目は標準品目または一般品目から派生できます。

標準品目

通常利用できる購買品目、資材、半組立品、または完成品

顧客の指定に応じた特定プロジェクトに対して製造される品目以外の品目は、すべて標準品目として定義されます。反対の用語はカスタマイズ品目です。

索引

- 生成
 - 資材内容, 14
 - 設定
 - 資材価格, 13
 - 概要
 - 資材価格, 11
 - 構成要素, 49
 - 適切なメニュー, 49
 - 一般価格リスト, 49
 - 販売スケジュール, 49
 - 資材価格情報, 33
 - 販売オーダーライン, 49
 - 例外, 49, 49
 - 一般品目, 50
 - 購買オーダー
 - 資材価格情報, 37
 - 購買スケジュール, 50
 - 資材価格情報, 43
 - 統合, 50
 - ファントム, 50
 - 有効化コード, 50
 - 消費, 50
 - 資材, 51
 - 販売オーダー
 - 資材価格情報, 27
 - キット, 51
 - 計画済倉庫オーダー, 51
 - リストグループ, 51
 - 販売見積, 51
 - 資材価格情報, 25
 - 販売契約
 - 資材価格情報, 31
 - 製品バリエーション, 51
 - 返品オーダー, 52
 - コピーテンプレート, 52
 - 見積依頼回答, 52
 - 発注先段階的支払, 52
 - 購買契約
 - 資材価格情報, 41
 - 資材価格, 52
 - 概要, 11
 - 設定, 13
 - 伝票ライン価格, 52
 - 設計モジュール, 52
 - 品目資材内容, 52
 - 資材実際価格, 52
 - 資材基準価格, 53
 - 資材交換, 53
 - 資材価格合意, 53
 - 資材価格付加費用, 53
 - 資材価格付加費用原価, 53
 - オプションリスト ID, 53
 - SSP, 52
 - 資材内容
 - 生成, 14
 - 資材価格情報の取得
 - 一般的論理, 21
 - 資材価格情報
 - 見積依頼, 35
 - 購買オーダー, 37
 - 購買スケジュール, 43
 - 購買契約, 41
 - 販売オーダー, 27
 - 販売スケジュール, 33
 - 販売契約, 31
 - 販売見積, 25
 - 見積依頼 (RFQ)
 - 資材価格情報, 35
 - 資材価格情報の更新
 - 一般的論理, 45
 - 契約ライン, 54
 - コピー例外, 54
 - 購買契約ライン, 54
 - 購買オーダーライン, 54
 - 購買の買掛在庫, 54
 - 回答ライン, 54
 - 部品表 (BOM), 54
 - カスタマイズ品目, 55
 - 標準品目, 55
-
